



瀬戸内海や瀬戸大橋を一望できる山

### 下津井鷲羽山



指定区分	国指定名勝
読みかた	しもついわしゅうざん
所在地	倉敷市下津井
指定年月日	昭和5年11月19日
解説	児島半島最南端付近に位置する瀬戸内海を望む標高133mの山。風食により、花崗岩の巨岩・奇岩が各所に露出し、岩と松の緑が織りなす風景が美しい。海上から望む姿が雄飛する鷲に似ていることからつけられたと言われる。瀬戸内海国立公園に属している。展望台からは瀬戸内海や瀬戸大橋が一望でき、特に夕景の美しさは日本の夕陽百選にも選ばれるほどである。
アクセス方法	JR児島駅から車約10分(4km)・「鷲羽山」行バス「鷲羽山第二展望台」下車徒歩5分
公開状況	自由
設備	駐車場  トイレ 
備考	中腹から山頂にかけて、あちこちに古墳があります。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定名勝
ぶんかざいめい (文化財名)	下津井鷺羽山
よみかた	しもついわしゅうざん
しょざいち (所在地)	倉敷市下津井
していつひ (指定した日)	昭和5年11月19日
せつめい	標高(ひょうこう)133メートルの山です。めずらしい形の岩があらわれており、岩と松の緑があわさった風景(ふうけい)もみごとです。展望台(てんぼうだい)からは、多くの島々が浮かぶ瀬戸内海(せとないかい)の景色(けしき)や瀬戸大橋(せとおおはし)をながめることができます。海からこの山を見ると、鷺(わし)が翼(つばさ)を広げた形に似(に)ていることから、この名前が付いたといわれています。